



「戦争法案絶対止める」と元気よくコールしながら進む参加者たち＝25日、長野市

戦争法案止める 各地で青年 多彩に

「すごいわ、青年たち」一。24、25の両日、全国各地で青年たちが、戦争法案に反対するサウンドデモや集会、街頭宣伝など多彩な行動に取

り組みました。どこでも、飛び入り参加や、沿道から共感の声援が送られるなど、注目を集めました。

→詳報⑩⑪面

7/26

赤坂

独裁的な手法許さない

7/26
若者

戦争法案ノー 若者立つ

京都

「SEALDs KANの関西学生緊急行動」は、24日夜、京都市の繁華街「SAI」のビルで開かれ、約600人が参加した。四條河原町で戦争法案を拒否する学生たちによるデモが行われた。



戦争法案に反対する街頭宣伝＝24日、京都市

「SEALDs KANの関西学生緊急行動」は、24日夜、京都市の繁華街「SAI」のビルで開かれ、約600人が参加した。四條河原町で戦争法案を拒否する学生たちによるデモが行われた。主催者は「戦争法案は、日本を再び戦争する国に導くものであり、絶対に許さない」と訴えた。

危険隠し強行ひきよう

長崎

被爆地・長崎の若者たちが25日、長崎市の中心街で戦争法案反対の集会とデモに取り組みました。青年・学生約350人が参加。全国各地で立ち上がる若者に刺激され、1カ月前に発足した「NINDO VE」の主催。長崎のNに平和の象徴ハトを合わせた。集会では、初参加の青年も飛び入りで次々にアピール。大学4年の筒井涼介さん(21)は「国民が命を落とすリスクを隠して法案を強行するなんてひきよう。ASEAN(東南アジア諸国連合)のように、外交で解決する国になってほしい」と力を込めました。連帯して日本共産党の堀江ひとみ県議が民主、

同志社大学2年の齋藤 三島(21)は「大阪大学名譽教授、岡野八代同志社大学教授がマイクを握りまくる姿を、だまされて見過ごすわけにはいきません」と力を込め、「この法案は絶対に通しちゃいけない。その思いを胸に、これから先もあきらめずにたたかっています。民主主義を守ろう」と訴えました。部の部員らと一緒に参加した宮田希さん(18)は「70年前に被爆し、二度と繰り返してほしくない」と訴えました。



「戦争したがる総理はいらない」など、レゲエ音楽などのリズムに乗ってコールするデモ参加者＝25日、長崎

「反対」は自然な気持ち

三重

三重県津市で24日夕、「戦争法案に反対する、津・若者デモ」が行われ、途中から隊列に加わった人も含め約100人が市内中心部を行進しました。同市まん中広場の集会では、呼びかけ人を代表して民青同盟県委員長出口洋介氏(25)が「三重からも『戦争法案反対』の声を発信することが安倍政権を追い込む



戦争法案反対を訴えながら行進する若者デモ参加者＝24日、三重県津市

確かな力になる」と強調。「ヤング9条の会」の青年や大学生、保育士らが「『これはおかしい』の声を広げていきたい」と目ざかりとリポートしました。ツイッターを見て参加したという中川知美さん(28)は「できるだけ派手にアピー

ルして、戦争に反対するという気持ちは自然なことなんだと伝えていきたい」と話しました。日本共産党の、ただた良介参院比例候補(35)、かまい敏行同三重選挙区候補(33)も参加しました。

絶対に後戻りしない

盛岡

「戦争法案絶対反対」の一点で共同を広げようと25日、戦争法案に反対する青年たちが盛岡市内で7・25盛岡デモを行い、約100人が参加しました。主催は同実行委員会。戦争法案は日本を再び戦争する国に導くものだとし、「私たちは、絶対に、絶対に後戻りしない」と掲げています。デモに先立つ集会で、主催者を代表して日本民主青年同盟岩手県委員会の藤倉志乃委員長が「日本を再び戦争に足を踏み入れさせる法律です。声を上げて私たちみんなの力で廃案にさせ、日本の未来と憲法を守



りましょう」と訴えました。デモに参加した盛岡市の女性(36)は「私には生後9カ月の赤ちゃんがいます。この子が将来戦争に行くようになるかもしれないなんて許せません。そんなことに絶対ならないよう戦争法案は反対です」と話しました。

戦争法案反対を訴えデモ行進する青年たち＝25日、盛岡市

「戦争法廃案に」500人

札幌

北海道憲法会議と北海道憲法改悪反対共同センターは24日夕方、札幌市中心部で、戦争法に反対する「プラデーアクション」を実施。横断幕を手にした青年らを先頭に、500人を超える人たちが行進し、「戦争法案



「戦争法案を廃案に」とアピールする人たち=24日、札幌市

は廃案に」とアピールは、回を重ねるごとに市民の反応が大きくなっていきます。沿道では、仕事帰りのサラリーマンが立ち止まり、

写真をとる観光客、若者や高校生がこぶしを振り上げ声援を送るなど注目を集めました。

デモ出発前の集会で、道労連の黒澤幸一議長は「戦争法案は来週から参院で審議が始まるが、徹底審議をさせて強行採決はできない」という事態に追い込もう」と呼びかけました。

9条こそが「抑止力」

高知

高知の青年でつくるピースパイオニアーズと戦争法案に抗(あらが)う高知県学生連の会(PEDAL)が共同で25日、高知市の商店街をデモ行進しました。歩いた1500人の

うち3分の1は、主催者と面識のない青年らで、街頭のビラやネットを見ての参加です。出発集会で、塚地伸平実行委員長(26)は「戦争をせず、話し合いで解決するのは決して『平和ボケ』ではない。過去の戦争を反省せず、同じ悲劇を繰り返すことが問題」とあいさつ。PEDALの一人で沖縄出身の

藤原奈穂さん(19)は祖父母に聞いた沖縄戦を紹介し、「憲法9条こそ、抑止力」。9条の価値を自覚してほしい」と訴えました。宣伝でデモを知り、「賛成が反対か迷っている。同世代の意見が聞きたい」と初めてデモに参加したのは、高知大学の男子学生。

「自分の考えをまっすぐ訴えていきたい。今の政府には賛成できない」と話しました。

なほどこの国の政治家が聞きたいです」「子どもたちが生きる社会が戦争する国になるのは嫌です」などと思いを話した後、リレーコールをおこないました。

参加者は、太鼓やタンバリン、笛のリズムに合わせて「戦争したがる総理はいらない」「憲法守れ」などコールしながら駅前をパレードしました。居酒屋の店先で、一緒にコールするグループも。街宣アピールの司会をした米田道三さん(29)は「自分の思いを出せたかと思っ

本中各地で怒っていることを示したい」と語ります。自転車や日本一周中の男性(27)も長野駅前集会を知らせる宣伝に出会って参加するなど、歩くうちに100人を超える参加者。

戦争する国はいや

長野

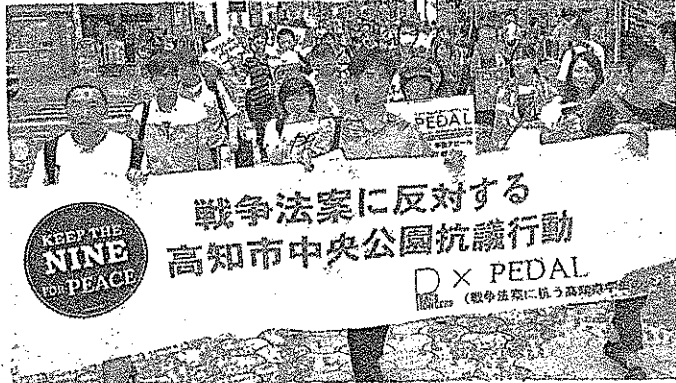
子輿議が「廃案にするまでもとがんばりましょう」と訴え。参加者が「安倍さん、あなた長野市で25日、僕ら

ら主権者って知らなくて委員会主催のサウンドデモが行われました。

「憲法守れ」と書いたボードや「戦争法案絶対とめる」などのプラカードを持ち、リズム&ブルースの音楽に合わせてコールします。

藤原日太郎弁護士(29)は「自分の思いを出せたかと思っ

戦争法案に反対する 高知市中央公園抗議行動



「戦争法案絶対反対」と唱和するデモ参加者=25日、高知市

奈良・榎原 奈良県の戦争法強行採決に反対する大和八木緊急街宣アピール実行委員会は24日、「LET US ALL UNITE」全世界への呼びかけを榎原(かしはら)市の近鉄大和八木駅北口広場でおこない、1500人が集まりました。

日本共産党の今井光

自分の思いを出せた



「憲法守れ」「戦争反対」とコールし、デモをする参加者=24日、札幌市

「国会前でも行っただけ、長野であって、日

7/26 57